

## V 試験研究発表題名

## 平成 22 年度 試験研究発表題名一覧

1. Hisashi Abe, K. Yoshida, C. Zhang, U. Watanabe, K. Kuroda, Y.Tsumusa, and T. Fujii. Application of DNA analysis to wood identification. Final Program of IAWA, IAWS and IUFRO Conference 2010 : 16
2. Kawamoto, S., N.Hayshi, T.Fujii & S.Okumura. Propagation of acoustic emission and acoustic-ultrasonic waves in wood. Final Program of IAWA, IAWS and IUFRO Conference 2010 : 69
3. 金子啓明 (東博), 岩佐光晴 (東博), 能城修一, 藤井智之. 日本古代における木彫像の樹種と用材観Ⅲ一八・九世紀を中心に (補遺). MUSEUM (東京国立博物館研究誌), 625 : 61-78
4. 吉村研介, 鈴木節子, 田中孝尚 (東北大), 鈴木三男 (東北大), 神保宇嗣 (東大), 伊藤 元己 (東大), 舘田英典 (九大), 大谷雅人, 勝木俊雄, 津村義彦, 藤井智之, 能城 修一, 河原孝行, 吉丸博志. 日本産樹木DNAバーコーディングの現状 (2009). 関東森林研究, 62 : 171-174
5. 藤井智之. 森林・林業の再生に向けて. 森林総合研究所関西支所研究情報, 99 : 1
6. 横山操 (京大), 杉山淳司 (京大), 藤井智之, 能城修一. 文化財指定建造物における用材樹種調査 (III) - 京都・清水寺・子安の塔について -. 日本木材学会大会研究発表要旨集, 61 : B19-P-AM05
7. 横山操 (京大), 杉山淳司 (京大), 川井秀一 (京大), 能城修一, 藤井智之, 伊東隆夫. 文化財指定建造物における用材樹種調査 (II) 高台寺傘亭・時雨亭を事例として. 文化財保存修理学会大会, 32 : P108
8. 藤井智之. 文化財建造物の用材樹種調査. 森林総合研究所関西支所研究情報, 96 : 2
9. 吉村研介, 大谷雅人, 田中孝尚, 鈴木三男, 神保宇嗣, 伊藤 元己, 永居 寿子, 舘田英典, 津村義彦, 藤井智之, 能城修一, 河原孝行, 吉丸博志. 日本産樹木バーコーディングの進捗状況と概要. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : B07
10. 安部久, 張春花, 吉田和正, 能城修一, 津村義彦, 藤井智之. 木材の樹種識別への DNA 分析の応用. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : B09
11. 篠宮佳樹, 山田毅, 稲垣善之, 吉永秀一郎, 鳥居厚志. 多雨地の森林流域からの年間の無機態窒素流出量の変動. 2010 生物地球科学研究会鳥根セッション発表要旨集 : 15
12. 鳥居厚志. なぜ強度間伐なのか? . 間伐遅れ過密林分のための強度間伐施業のポイント (森林総合研究所四国支所), 20pp
13. 鳥居厚志. タケは里山の厄介者か? (1). 現代林業, 529 : 52-55
14. 鳥居厚志. タケは里山の厄介者か? (2). 現代林業, 530 : 50-53
15. 鳥居厚志. 高知県の自然林. 高知県の自然環境 (全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会編) : 45-46
16. 清野嘉之, 鳥居厚志, 奥田史郎, 野田巖, 金森匡彦. 日本の竹林のバイオマス炭素蓄積量, 吸収量の算定手法の開発. 森林総合研究所第 2 期中期計画成果集 重点課題ア a 森林への温暖化影響予測及び二酸化炭素吸収源の評価・活用技術の開発 : 12-13
17. 今富裕樹, 佐藤重穂, 鳥居厚志, 奥田史郎, 鈴木覚, 藤原健, 田中良明. 間伐遅れの過密林分のための強度間伐施業のポイント. 森林総合研究所第 2 期中期計画成果集 重点課題アウ a 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発 : 34-35
18. 奥田史郎, 鳥居厚志, 伊藤武治, 佐々木達也. タケの地上部現存量を簡易に推定する. 森林総合研究所第 2 期中期計画成果集 重点課題アウ a 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発 : 44-45

19. 鳥居厚志, 奥田史郎, 佐藤重穂, 今富裕樹, 鈴木覚, 藤原健, 広部伸二, 田中良明. 強度間伐作業マニュアルの作成. 森林総合研究所平成 22 年版研究成果選集 2010 : 36-37
20. 鳥居厚志. 「竹」をめぐる諸問題. 竹に関する研究会資料. 京都府立大学 : 15pp
21. 奥田史郎・伊藤武治・鳥居厚志. 列状伐採したモウソウチク林の伐採後 5 年間の再生量. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa1-48
22. 篠宮佳樹, 山田毅, 稲垣善之, 吉永秀一郎, 鳥居厚志. 四万十川源流部森林流域からの大雨時における硝酸態窒素の流出メカニズム. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pb2-40
23. 鳥居厚志. タケ資源の持続的利用のための竹林管理・供給システムの開発. 農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 研究紹介 2 0 1 0 : 17
24. 黒田慶子. 不安定化する里山生態系 - 近年のナラ枯れ拡大が示すこと. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか, どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 22
25. 黒田慶子, 大住克博, 奥敬一. 里山における“社会-生態システム”回復のための社会実験. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか, どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 58-59
26. Kuroda, K. Incomplete defense system of trees against infection with pathogenic microorganisms. IAWA, IAWS and IUFRO Conference (国際木材科学会, 国際樹木解剖学会, IUFURO 共催), 23-26 June 2010, Madison, Wisconsin, USA
27. Kuroda, K. Monitoring of xylem embolism and dysfunction by the acoustic emission technique in *Pinus thunbergii* inoculated with the pine wood nematode, *Bursaphelenchus xylophilus*. Journal of Forest Research, DOI 10.1007/s10310-010-0246-1
28. 黒田慶子. 里山の健康をどう回復させるのか. Loupe (NPO 法人シニア自然大学校), 90 : 1
29. Kuroda K (黒田慶子), Osumi K (大住克博), Oku H (奥 敬一). Current style Satoyama utilization to recover the forest health. Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design, Nagoya, Japan, 18- 23 May 2010, S14-3 : 167
30. Kuroda K (黒田慶子), Osumi K (大住克博), Oku H (奥 敬一). A social experiment for the reconstruction of resilience in Satoyama Social-Ecological System in Japan. The International Forestry Review; Forests for the Future: Sustaining Society and the Environment. XXIII IUFRO World Congress, 2010 Seoul, Korea, Technical Session H-02 : Abstract No.S01504
31. 黒田慶子. ナラ枯れを防ぐために<上> 被害を増やさないためのポイント. 現代林業, 2010 年 7 月号 : 36-39
32. 黒田慶子. ナラ枯れを防ぐために<下> 里山管理の誤解を解く. 現代林業, 2010 年 8 月号 : 36-39
33. 黒田慶子, 奥敬一 (西日本クラスター). 日本の里山・里海評価 - 西日本クラスター, 2010. 里山・里海: 日本の社会生態学的生産ランドスケープ - 西日本の経験と教訓. 国際連合大学, 東京
34. 黒田慶子. スギ・ヒノキに材質劣化を起こす暗色枝枯病. 山林, 1514 : 62-65
35. 黒田慶子. 近年の里山管理の問題点 - 資源循環をとまなう管理の必要性和住民の役割 -. 山林, 1517 : 2-9
36. 黒田慶子. 樹木医学の基礎講座, 樹木講座 8 : ナラ枯れと樹木の健康管理. 樹木医学研究, 14 (2) : 60-66
37. 黒田慶子. 里山再生・活用で農山漁村が躍動 VIII 里山を健康に持続させるには - ナラ枯れで見てきた里山の健康低下 -. 週刊農林, 2089 : 6-7

38. 黒田慶子. 里山再生・活用で農山漁村が躍動 IX 健康な里山を再生させる. 週刊農林, 2090 : 6-7
39. 黒田慶子. 里山再生・活用で農山漁村が躍動 X 里山管理の再開と地域コミュニティの活性化. 週刊農林, 2092 : 10-11
40. 黒田慶子. ナラ枯れの発生原因と対策. 植物防疫, 65 : 162-165
41. 黒田慶子. 里山資源の積極的利用で、健康な次世代里山を再生する. 森林と林業 (日本林業協会), 2010年11月 : 12-13
42. 黒田慶子. 「ナラ枯れ」の増加から、里山との向き合い方を考える. 森林環境 2011 国際森林年 森の明日を考える 12章. 森林環境研究会編 (朝日新聞出版) : 131-140
43. 黒田慶子. 現代版の里山利用システムを作るささやかな試み. 森林技術 (日本森林技術協会), 818 : 16-17
44. 黒田慶子. 里山資源の積極的利用で健康な次世代里山を再生する. 森林総合研究所林業新技術 2010 : 7-8
45. 黒田慶子. マツ材線虫病抵抗性として選抜されたアカマツおよびクロマツの特性. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : D27
46. 大平峰子, 宮原文彦, 森康浩, 大川雅史, 宮崎潤二, 真崎修一, 吉本貴久雄, 佐々木義則, 山田康裕, 三樹陽一郎, 田上敏彦, 小山孝雄, 宮里学, 鳥羽瀬正志, 黒田慶子, 岡村政則, 松永孝治, 白石進. クロマツの第二世代マツ材線虫病抵抗性種苗生産システムの構築. 林木の育種, 235 : 1-5
47. 黒田慶子. ナラ枯れの現状と問題点. 林木の育種, 235 : 18-21
48. 山本伸幸. 「森林認証制度等を通じた県産低質材の高付加価値化の可能性調査」報告書. 「住宅分野への地域材供給シェア拡大総合対策事業報告書」. 和歌山県木材連合会 : 1-33
49. Nobuyuki Yamamoto. The future view of the forest and forestry statistics in Japan. 23th IUFRO World Congress, HP09-P02
50. Nobuyuki Yamamoto. Why do we need comparative social science studies for forest sector between Finland and Japan? Joint Japanese-Finnish Forest Research Seminar Forestry in changing environments, S3-2
51. 山本伸幸. 森林・林業統計の現状と展望. 山林, 1522 : 10-16
52. 岡裕泰, 山本伸幸, 田中亘, 石崎涼子, 杉村乾. 日本-フィンランド国際研究セミナー: 私有林経営の推進を主題として行われたセッションを中心に. 森林技術, 823 : 18-19
53. 山本伸幸. フィンランドにおける林業普及組織制度改革. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 15
54. 山本伸幸. 森林と産業-日本と世界の経験から考える-. 平成22年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨「森林の時間、社会の時間」: 5
55. 山本伸幸. 村、森林組合、民間会社の連携による集約化-美作森林組合西粟倉事業所-. 平成22年度林業経営担い手モデル事業成果報告書 (全国森林組合連合会) : 144-147
56. 山本伸幸. 大規模木材工場への供給を目標とした集約化-兵庫県揖保川流域-. 平成22年度林業経営担い手モデル事業成果報告書 (全国森林組合連合会) : 148-151
57. 山本伸幸. チリ共和国森林セクターと違法伐採問題. 木材情報, 235 : 10-15

58. 山本伸幸, 立花敏. 森林・林業統計のこれから－活用と課題に着目して－. 林業経済, 63 (1) : 16
59. 山本伸幸. フィンランドが林業普及制度の改革を検討－焦点は森林管理料の分配－. 林政ニュース, 386 : 21
60. 山本伸幸. チリ共和国森林セクターにおける違法伐採問題、森林認証制度. 違法伐採対策等のための持続可能な森林経営推進計量モデル開発事業報告書 (林野庁) : 26-37
61. 山本伸幸. 交付金プロ「地域資源活用と連携による山村振興」の視角. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集 地域資源活用と連携による山村振興, 31 : 155-157
62. 堀 靖人, 平野悠一郎, 久保山裕史, 八巻一成, 嶋瀬拓也, 天野智将, 山本伸幸, 山田茂樹, 塔村真一郎, 村田光司, 駒木貴彰, 立花敏, 山根正伸, 大塚健司, 陸文明, 呉鉄雄. 中国における木材市場と貿易の拡大が我が国の林業・木材産業に及ぼす影響の解明. 森林総合研究所第 2 期中期計画成果集 重点課題アウ a 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発 : 10-11
63. 岡裕泰, 久保山裕史, 堀靖人, 石崎涼子, 山本伸幸, 立花敏. 時代の要請に応える私有林経営形態の変革. 森林総合研究所第 2 期中期計画成果集 重点課題アウ a 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発 : 6-7
64. 山本伸幸. 資源論の射程. 森林総合研究所編「森・里の恵みと山村振興－市場経済と地域社会の視点から－」(日本林業調査会) : 23-37
65. 張玉福, 平野悠一郎, 山本伸幸. 中国の統計制度とデータの精度. 森林総合研究所編「中国の森林・林業・木材産業－現状と展望－」(日本林業調査会) : 343-360
66. 山本伸幸. フィンランドにおける森林所有者共同組織の性格を巡って. 林業経済学会秋季大会発表要旨, 2010 : B 5
67. Roy C Sidle (アパラチアン州立大), Keewook Kim (アパラチアン州立大), Yoshio Tsuboyama (坪山良夫), Ikuhiro Hosoda (細田育広). A parsimonious, process-based hydrological model for headwater catchments (源頭流域のための単純なプロセスベースの水文モデル). Abstract H31I-08 presented at 2010 Fall Meeting, AGU, San Francisco, Calif., 13-17 Dec
68. Ikuhiro Hosoda (細田育広). Variation of Retention Curves in the Past 70 years in the Tatsunokuchi-yama Forested Experimental Watershed (竜ノ口山森林理水試験地における過去 70 年間の保留量曲線の変動). Abstract H33B-1138 presented at 2010 Fall Meeting, AGU, San Francisco, Calif., 13-17 Dec
69. Ikuhiro Hosoda (細田育広). The Runoff Characteristics and Fluctuation of the Groundwater Levels in the Hillslope of a Watershed Underlain by Sedimentary Rocks (堆積岩流域斜面における流出特性と地下水位変動). Eos Transactions of AGU, 91 (26), Western Pacific Geophysical Meeting Supplement, Abstract: H21A-154
70. Ikuhiro Hosoda (細田育広). An index for evaluating mean annual runoff, affected by the vegetation cover in forest watersheds (森林流域における植被を反映した年平均流出を評価する指標). The International Forestry Review, 12 (5) : 161-162
71. 谷 誠 (京大), 細田育広. 60 年間放置された広葉樹二次林が流域管理に及ぼす影響. 日本森林学会大会講演要旨集, 122 : G13
72. 三道義己, 小杉賢一郎, 藤本将光, 加藤弘之, 水山高久, 谷誠, 恩田裕一, 平松晋也, 細田育広. 山地源流域における岩盤内地下水の降雨応答特性の解析. 砂防学会研究発表会概要集, 2010 : P-249
73. 細田育広. 竜ノ口山森林理水試験地南谷主流路沿いの風向と風速について. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 53

74. 細田育広, 野口正二, 坪山良夫. 森林の再生と水流出の長期的な関係. 森林総合研究所第2期中期計画成果集 アイ b 水土保全機能の評価及び災害予測・被害軽減技術の開発: 14-15
75. 坪山良夫, 清水貴範, 久保田多余子, 飯田真一, 延廣竜彦, 玉井幸治, 村上 亘, 阿部俊夫, 野口正二, 細田育広, 清水 晃, 壁谷直記. 森林のせせらぎ、その水はどこをどのように流れてきたのか?. 森林総合研究所第2期中期計画成果集 イイ a 森林生態系における物質動態の解明: 30-31
76. 村上亘, 細田育広, 野口正二. 多雪山地源流域における流出土砂量の経時変化. 地形, 31 (2): 171-192
77. 吉永秀一郎, 坪山良夫, 相澤州平, 阿部俊夫, 志知幸治, 野口正二, 岡本透, 溝口岳男, 細田育広, 篠宮佳樹, 釣田竜也, 清水貴範. 日本の森林流域における栄養塩の収支. 日本森林学会大会学術講演集, 121: Pb2-23
78. 細田育広. 水流出に対応する植生の指標について－竜ノ口山森林理水試験地を例として－. 日本森林学会大会学術講演集, 121: Pc1-24
79. 細田育広. 林地斜面表土層におけるテンシオメータと粒状マトリクスセンサーの比較観測. 日本森林学会大会学術講演集, 122: Pb1-36
80. 谷誠, 藤本将光, 勝山正則, 小島永裕, 細田育広. 土壌の攪乱をともなう山地小流域の流出特性の分類と予測. 日本地球惑星科学連合大会予稿集, 2010: AHW019-01
81. 細田育広, 玉井幸治, 坪山良夫, 落合博貴. 竜ノ口山南谷における部分的な混交林転換初頭の流況. 平成22年度近畿中国森林管理局山地森林水保全機能調査業務報告書: 83
82. Mahoko Noguchi (野口麻穂子), Shiro Okuda (奥田史郎), Kazuki Miyamoto (宮本和樹), Takeharu Ito (伊藤武治). Woody understory response to thinning in hinoki cypress plantations in Shikoku, southwestern Japan. Abstracts of 7th IUFRO International Conference on Uneven-aged Silviculture: 83
83. Okumura, Hideo (奥村栄朗), Okuda, Shiro (奥田史郎), Ito, Takeharu (伊藤武治), Sakai, Atsushi (酒井敦) (国際農研). Damage to natural deciduous forest caused by Sika deer bark-stripping in the southwestern part of Shikoku Is., Japan. (四国南西部の落葉広葉樹天然林に対するニホンジカの剥皮による被害). International Forestry Review (Abstracts of XXIII IUFRO World Congress), 12 (5): 406
84. Kazuki Miyamoto, Shiro Okuda, Mahoko Noguchi, Takeharu Itoh and Eiji Kodani. Recovery of amount of leaves in heavily thinned hinoki cypress (*Chamaecyparis obtuse*) stands in southwestern Japan. The International Forestry Review, 12 (5): 162
85. Mahoko Noguchi, Shiro Okuda, Kazuki Miyamoto, Takeharu Ito. Effect of thinning on male flower production in hinoki cypress (*Chamaecyparis obtuse*) stands in southwestern Japan. The International Forestry Review, 12 (5): 483
86. 田内裕之, 野口麻穂子, 宮本和樹, 伊藤武治, 酒井敦, 奥田史郎. 伐採跡地の状況からみた天然更新基準－照葉樹林帯での事例－. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61: 71
87. 奥田史郎, 伊藤武治, 鳥居厚志. 人工林資源の今後の持続的利用に向けて. 森林総合研究所関西支所研究情報, 97: 1
88. 野口麻穂子, 奥田史郎, 宮本和樹, 伊藤武治. 強度間伐を行なったヒノキ人工林における広葉樹稚樹の動態. 日本森林学会大会学術講演集, 121: H08
89. 奥田史郎, 伊藤武治, 鳥居厚志. 列状伐採したモウソウチク林の伐採後5年間の再生量. 日本森林学会大会学術講演集, 122: Pa1-48

90. 奥村栄朗, 奥田史郎, 伊藤武治, 酒井敦 (国際農研). 四国南西部・三本杭におけるニホンジカの剥皮被害による天然落葉広葉樹林の衰退. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-119
91. 奥村栄朗, 奥田史郎, 伊藤武治. シカ侵入防止ネットによる剥皮害の防止効果調査. 平成 22 年度四国森林管理局受託事業「滑床山・黒尊山国有林におけるニホンジカによる森林被害に関する調査」調査報告書 : 52-73
92. 奥村栄朗, 奥田史郎, 伊藤武治. 植生被害状況調査 (剥皮被害実態調査). 平成 22 年度四国森林管理局受託事業「滑床山・黒尊山国有林におけるニホンジカによる森林被害に関する調査」調査報告書 : 5-51
93. 奥田史郎, 奥村栄朗, 伊藤武治. ミヤコザサ及び稚樹の再生量調査. 平成 22 年度四国森林管理局委託事業「滑床山・黒尊山国有林におけるニホンジカによる森林被害に関する調査」調査報告書 : 73-86
94. 奥村栄朗, 奥田史郎, 伊藤武治, 酒井敦 (国際農研). ニホンジカの剥皮被害による天然落葉広葉樹林の衰退. 野生生物保護学会・日本哺乳類学会 2010 年度合同大会 (岐阜大学) プログラム・講演要旨集, 16 : 172
95. 大住克博. 人為攪乱とナラ類. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか、どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 20-21
96. Osumi, K. Sustainability, Collapse and the Role of Management Appeared in the Satoyama's History of Natural Resource. RIHN 5th International Symposium "The Past and Future of Diversity" Abstract. 14.
97. Osumi, K. & Ishii, A. (滋賀県立大院). Oak-dominant working forests in SATOYAMA, an anthropogenic landscape in Japan. The 1st international Environment and Forestry symposium. Turkey & Japan. Abstract.
98. 大住克博, 湯本貴和 (総合地球環境学研究所). 森林資源の持続と枯渇. シリーズ 日本列島の三万五千年一人と自然の環境史第 3 巻 里と林の環境史 (文一総合出版) : 249-264
99. 大住克博. 里山林をなるべく簡単に調べる. 森林総合研究所関西支所研究情報, 99 : 2
100. 大住 克博, 石井 敦子 (元滋賀県立大学), 伊東 宏樹. 関西地方の里山林で優占するコナラ亜属 4 種の繁殖開始サイズ. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 45
101. 齋藤武史, 金子智紀, 和田覚, 大原偉樹. 文献資料と毎木調査によるスギ人工林間伐前後における流域葉量推定手法について. 関東森林研究, 62 : 95-98
102. 大原偉樹. 西日本の山でもできるかな? 雪につく霜. 森林総合研究所関西支所研究情報, 97 : 2
103. 金子智紀, 武田響一, 野口正二, 大原偉樹, 藤枝基久. 積雪地帯の近接したスギ人工林 3 小流域における流出特性の比較. 日本森林学会誌, 92 (4) : 208-216
104. 齋藤武史, 大原偉樹, 金子智紀, 和田覚. スギ人工林間伐後の樹冠葉量回復過程. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : H20
105. 高橋和規. モクレン科タムシバの種分化. 森林総合研究所関西支所研究情報, 98 : 2
106. 新山馨, 小川みふゆ, 九島宏道, 高橋和規, 佐藤保, 酒井武, 田内 裕之. 人工林の広葉樹林化に向けた広葉樹の更新に関する文献の収集と評価. 日本森林学会誌, 92 (6) : 292-296
107. 「広葉樹林化」研究プロジェクトチーム 独立行政法人 森林総合研究所 (高橋和規). 2. 埋土種子 (3. 林分 (施業予定地) での更新を決める要因). 広葉樹林化ハンドブック 2010 - 人工林を広葉樹林へと誘導するために - : 14-15
108. 平田晶子, 酒井武, 高橋和規, 杉田久志, 佐藤保, 田中浩, 田内裕之. スギ人工林における広葉樹の更新に森林管理が与える影響. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : E27

109. 酒井武, 高橋 和規, 杉田久志, 平田晶子, 田内裕之. スギ壮齡人工林皆伐跡の天然更新. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : E28
110. 高橋 和規, 酒井武, 九島宏道, 平田晶子, 田内裕之. スギ列状間伐地における林床広葉樹の成長. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : E29
111. 山下直子, Lei Thomas (龍谷大学). 放置された里山林に出現する林内低木種の光環境への適応について. 2010年代のための里山シンポジウムーどこまで理解できたか、どう向き合っていくかー講演要旨集 : 55-56
112. Naoko Yamashita. Ecology and impact of invasive tree, *Bischofia javanica*, in the Bonin (Ogasawara) islands, subtropical pacific, Japan. The proceedings of international symposium on monitoring and management of Alien Invasive Species. P64-65.
113. 山下直子, 河原孝行, Lei Thomas (龍谷大学). ジンチョウゲ属低木種の繁殖と成長に与える光環境の影響. 種生物シンポジウムプログラム・講演要旨集, 42 : 6
114. 山下直子. 葉と花にユニークな特徴をもつ植物ージンチョウゲ属. 森林総合研究所関西支所研究情報, 96 : 3
115. 大住克博, 山下直子, 五十嵐哲也. 里山林を「近所の人たち」とともに管理する. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : A09
116. 河原孝行, 吉村研介, 山下直子, 宮浦富保 (龍谷大学), Lei Thomas (龍谷大学), 吉丸博志. 樹木分類群及び産地識別におけるバーコード情報の可能性. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : B08
117. 山下直子, Lei Thomas (龍谷大学). 異なる光環境で生育させた里山樹種 35 種の生理・形態的可塑性. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pb1-24
118. 山下直子, 河原孝行. 小笠原諸島の外来種アカギ除去後の再加入リスク評価. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : 510
119. 溝口岳男. カメラ埋設型ミニリゾトロンによる落葉広葉樹二次林の細根動態の解析. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 46
120. 溝口岳男. 森林の土に溜まる炭素を調べるー森林土壌の記録整備の重要性ー. 森林総合研究所関西支所研究情報, 98 : 1
121. 牧田直樹 (京都大), 杉元 貴信, 平野 恭弘 (名古屋大), 谷川 東子, 溝口 岳男, 石井 弘明 (神戸大). 異質土壌環境下におけるヒノキの細根およびシュートの形態的・生理的可塑性. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : D34
122. 溝口 岳男, 平野 恭弘, 谷川 東子, 壁谷 大介, 長谷川 元洋. 局所分布する窒素に対するヒノキ、カラマツ細根の成長反応. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : Pa2-49
123. Yuji Kominami, Yukari Takeuchi, Nobuyuki Tanaka, Yasoichi Endo. Estimation of snow distribution and surface avalanches using data from remote weather stations (AMeDAS). 2010 Korea-Japan International Symposium of Innovative forest disaster R&D center, 30-41
124. M. Jomura (日本大), Y. Kominami, M. Ataka (京都大), N. Makita (京都大), M. Dannoura (京都大), T. Miyama. Input-decomposition balance of heterotrophic processes in a warm-temperate mixed forest in Japan. AGU2010 fall meeting, B41H-0423
125. Yuji Kominami, Yoshihiro Asaoka (東北大), Ikutaro Tsuyama, Nobuyuki Tanaka. Impact of climate change on snow distribution in Japan estimated using data from the remote weather stations (AMeDAS) and Spot VGT. AGU2010 fall meeting, C33F-0596

126. Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Kenta Nakagawa (中川健太, 京大), Yuji Kominami (小南裕志), Takafumi Miyama (深山貴文), Kazuhiro Kinoshita (木下数博, 京大), Susumu Tohno (東野達, 京大), Ken Hamotani (鱧谷憲, 大阪府大), Minoru Yoneda (米田稔, 京大), Akira Tani (谷晃, 静岡県大). LONG-TERM MEASUREMENTS OF ISOPRENE FLUXES ABOVE WARM-TEMPERATE MIXED FOREST IN JAPAN. Asiaflux workshop 2010 Proceedings : 117
127. Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Takafumi Miyama (深山貴文), Yuji Kominami (小南裕志), Mioko Ataka (安宅未央子, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大). METHANE EMISSION FROM WET AREA IN THE TEMPERATE FOREST -CONTRIBUTION OF WATER AND TEMPERATURE TO METHANE EFFLUX-. Asiaflux workshop 2010 Proceedings : 65
128. Naoki Makita (京都大), Yasuhiro Hirano (名古屋大), Takeo Mizoguchi, Yuji Kominami, Masako Dannoura (京都大), Hiroaki Ishii (神戸大). Very fine roots respond to soil depth: biomass allocation, morphology, and physiology in a broad-leaved temperate forest. Ecological Research, 26 (1), 95-104, DOI: 10.1007/s11284-010-0764-5
129. 木下数博 (京大), 奥村智憲 (京大), 中川健太 (京大), 東野達 (京大), 小南裕志, 深山貴文, 米田稔 (京大), 鱧谷憲 (大阪府大), 谷晃 (静岡県大). REA 法を用いた温帯混合林におけるイソプレンフラックスの測定. 生物起源微量ガスワークショップ 2010 講演要旨 : 3
130. 小南裕志, 深山貴文, 吉村謙一, 奥村智憲 (京大). 山城試験地における炭素循環プロセス研究の概要. 生物起源微量ガスワークショップ 2010 講演要旨 : 14-15
131. 奥村智憲 (京大), 川本純平 (京大), 東野達 (京大), 小南裕志, 深山貴文. 森林域におけるイソプレン由来有機エアロゾルの観測. 生物起源微量ガスワークショップ 2010 講演要旨 : 7
132. 奥村智憲 (京大), 井口達也 (京大), 東野達 (京大), 深山貴文, 小南裕志. 日本の主要な針葉樹から放出される揮発性有機化合物に関する研究. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 56
133. 吉村謙一, 深山貴文, 小南裕志, 奥村智憲 (京大), 安宅未央子 (京大), Jade SALLELES (ナンシー第 1 大学). 高速メタン計を用いた溪流内のメタン発生特性についての検討. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 61
134. 松本 晃 (神戸大), 小南裕志, 石井弘明 (神戸大). 野外における小型チャンバー法を用いた枯死根の分解呼吸量の直接測定. 日本森林学会誌, 92 (5) : 269-272
135. 吉村謙一 (神戸大自然科学), 小南裕志, 服部和佐 (京大農), 深山貴文. 落葉期における樹液流の変化 - 落葉樹コナラと常緑樹ソヨゴの比較 -. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : F2-09
136. 小南裕志, 深山貴文, 吉村謙一, 安宅未央子, 檀浦正子 (京都大学院), 上村真由子 (日本大学). 暖温帯落葉広葉樹林における水ストレスに伴う樹液流速の反応について. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : P1-116
137. 和田佳子 (大阪市大・理), 小南裕志, 吉村謙一, 植松千代美 (大阪市大・理), 吉良竜夫 (元大阪市大・理). 隣接する落葉広葉樹林と常緑広葉樹林の現存量はどのように変遷するのか? - 30 年間の炭素蓄積変化の比較 -. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : P1-137
138. 津山幾太郎, 中尾勝洋, 堀川真弘 (トヨタ・バイオ緑化), 松井哲哉, 小南裕志, 上條隆志 (筑波大・生命環境), 田中信行 (森林総研). チシマザサ節とチマキザサ節の棲み分けを規定する気候要因の解明と温暖化の影響予測. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : P2-037

139. 安宅未央子 (京大院・農・森林水文), 小南裕志, 上村真由子 (日本大), 植松千代美 (大阪市大), 谷誠・小杉緑子 (京大院・農). 常緑・落葉樹の葉リター分解呼吸量と環境応答性の評価. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : P2-160
140. 小南裕志. 森林と二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の関係. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 63
141. 小南裕志. CO<sub>2</sub> はどのように測るのか - 森林の CO<sub>2</sub> 交換量の測定 -. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 64
142. 小南裕志, 上村真由子 (日大農), 壇浦正子 (京大農), 深山貴文. 暖温帯落葉広葉樹林における炭素収支の長期推定 - マツ枯れによる遷移プロセスの評価 -. 日本農業気象学会全国大会講演要旨, 2011 : 194
143. Toko Tanikawa, Masamichi Takahashi, Kyotaro Noguchi, Hidetoshi Shigenaga, Junko Nagakura, Akio Akama, Hisao Sakai. Transformation of organic sulfur compounds in sub-alpine Japanese forest soils. Organic matter stabilization and ecosystem functions Program
144. 今矢 明宏, 谷川東子. イオウを貯める火山灰土. 季刊森林総研, 9 : 12-13
145. 谷川東子, 平野恭弘 (名古屋大). 酸緩衝能の異なる関西スギ林土壌の化学性. 大気環境学会年会講演要旨集, 51 : 358
146. 平野恭弘 (名古屋大), 谷川東子. 関西地域の酸緩衝能の異なる土壌に生育する スギ細根の垂直分布. 大気環境学会年会講演要旨集, 51 : 359
147. 谷川 東子, 野口 享太郎, 長倉 淳子, 酒井 寿夫, 赤間 亮夫, 高橋 正通. 森林土壌中のイオウ化合物の形態変化. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : Pb2-35
148. 平野 恭弘 (名古屋大), 壇浦 正子 (京都大), 谷川 東子, 山瀬 敬太郎 (兵庫県森林セ), 青野 健治 (KANSO), 石井 政博 (KANSO), 野本 大輔 (KANSO), 五十嵐 鉄朗 (KANSO). 地中探査用レーダを用いた樹木根の検出 - 根のレーダ反射波を妨げる要因 -. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : J18
149. 谷川 東子, 高橋 正通, 野口 享太郎, 重永 英年, 長倉 淳子, 赤間 亮夫, 酒井 寿夫, 中西 健一 (三重大). 森林土壌における 2 種の有機イオウ化合物の形態遷移. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pb2-55
150. 黒川潮. 山地斜面の安定度の評価手法の検討. 平成 22 年度樹木根系の斜面補強効果調査報告書 : 133-162
151. 黒川潮, 岡田康彦. スギ・クヌギのせん断力補強強度の推定. 砂防学会研究発表会概要集, 59 : O2-01 (92-93)
152. 黒川潮, 小川泰浩. 東京都三宅島雄山噴火災害跡地における土砂流出量の観測. 砂防学会誌, 63 (4) : 59-62
153. 黒川潮. 山地災害を防止する根の強さを調べる. 森林総合研究所関西支所研究情報, 98 : 3
154. 黒川潮, 小川泰浩, 岡部宏秋, 阿部和時 (日本大学). 2000 年三宅島噴火災害とその後の復旧. 水利科学, 54 (1) : 63-79
155. 三森利昭, 大丸裕武, 黒川潮, 岡本隆, 村上亘, 多田泰之, 小川泰浩, 岡田康彦, 野口正二, 安田幸生, 浅野志穂, 大野泰宏 (鳥取県). 2008 年岩手・宮城内陸地震による土砂災害. 水利科学, 54 (3) : 105-127
156. Takafumi Miyama (深山貴文), Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Yuji Kominami (小南裕志), Mioko Ataka (安宅未央子, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Akira Tani (谷晃, 静大). BVOCs observation in a warm-temperate deciduous broad leaved forest. 5th International PTR-MS Conference 2011 Contributions : 233

157. Takafumi Miyama (深山貴文), Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Yuji Kominami (小南裕志), Mioko Ataka (安宅未央子, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Akira Tani (谷晃, 静岡県). DEVELOPMENT OF CH<sub>4</sub> AND BVOC FLUX MEASUREMENT SYSTEM IN A DECIDUOUS BROAD LEAVED FOREST. Asiaflux workshop 2010 Proceedings, 62
158. Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Kenta Nakagawa (中川健太, 京大), Yuji Kominami (小南裕志) and Takafumi Miyama (深山貴文), Kazuhiro Kinoshita (木下数博, 京大), Ken Hamotani (鱧谷憲, 大阪府大), Susumu Tohno (東野達, 京大), Minoru Yoneda (米田稔, 京大), Akira Tani (谷晃, 静岡県). Isoprene flux measurement using relaxed eddy accumulation method in warm-temperate mixed forest in Japan. Earth observation for land-atmosphere interaction science Abstract book : 47
159. Takafumi MIYAMA (深山貴文), Kenichi YOSHIMURA (吉村謙一), Yuji KOMINAMI (小南裕志), Motonori OKUMURA (奥村智憲, 京大), Mioko ATAKA (安宅未央子, 京大), Naoki MAKITA (牧田直樹, 京大) and Jade SALLELES (INRA). CH<sub>4</sub> emissions from litter-covered sandbars and the edges of a mountain stream in a secondary deciduous broadleaf forest. Journal of Agricultural Meteorology, 67 (1) : 43-51
160. Kenta Nakagawa (中川健太, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Yuji Kominami (小南裕志), Takafumi Miyama (深山貴文), Susumu Tohno (東野達, 京大), Ken Hamotani (鱧谷憲, 大阪府大), Akira Tani (谷晃, 静岡県). Isoprene Flux Measurement using Relaxed Eddy Accumulation Method in Warm-temperate Mixed Forest in Japan. Proceedings of ISAM 2011 : 156
161. Takafumi Miyama (深山貴文), Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Yuji Kominami (小南裕志), Mioko Ataka (安宅未央子, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Akira Tani (谷晃, 静岡県). Time series variations of CO<sub>2</sub>, CH<sub>4</sub> and BVOC flux in a broad leaved deciduous forest. Proceedings of ISAM 2011 : 159
162. Jumpei Kawamoto (川本純平, 京大), Motonori Okumura (奥村智憲, 京大), Susumu Tohno (東野達, 京大), Yuji Kominami (小南裕志) and Takafumi Miyama (深山貴文). Characterization of organic aerosols from isoprene at a forested site in Japan. The International Aerosol Conference 2010 Abstract book : P3W34
163. 奥村智憲 (京大), 川本純平 (京大), 東野達 (京大), 小南裕志, 深山貴文. 森林域におけるイソプレン由来有機エアロゾルの観測. エアロゾル科学・技術研究討論会, 27 : A03 (5-6)
164. 深山貴文. 森林のメタンフラックス連続測定を可能に. 森林総合研究所第2期中期計画成果集 イイ a 森林生態系における物質動態の解明 : 38-39
165. 深山貴文, 小南裕志, 吉村謙一, 奥村智憲 (京大), 安宅未央子 (京大), 谷晃 (静岡県). 山城試験地における PTR-MS 観測について. 生物起源微量ガスワークショップ 2010 講演要旨 : 10
166. 安宅未央子 (京大), 小南裕志, 深山貴文, 吉村謙一. 異なるサイズの落葉・落枝分解呼吸の水応答性. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 59
167. 深山貴文, 小南裕志, 吉村謙一, 奥村智憲 (京大), 安宅未央子 (京大), Jade SALLELES (ナンシー大学). PTR-MS を用いた暖帯落葉広葉樹林における微量ガスフラックス観測. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 60
168. 橋本太郎 (奈良県), 深山貴文, 小南裕志, 吉村謙一, 牧田直樹 (京大), 金澤洋一 (神戸大). 落葉広葉樹二次林におけるルートリターからのメタンの発生特性について. 森林応用研究, 19 (2) : 35-39
169. 深山貴文. CO<sub>2</sub> は出たり入ったり - いろいろな生物による CO<sub>2</sub> 交換 -. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 65

170. 奥村智憲 (京大), 東野 達 (京大), 小南裕志, 深山貴文, 谷 晃 (静県大), 山本浩平 (京大). 近畿地方における森林植生からの揮発性有機化合物放出量の推定. 大気環境学会年会講演要旨集, 51 : 424
171. 徳田佐和子 (北海道立林試), 太田祐子, 服部力, 加賀谷 (正田) 悦子, 早乙女梢 (国立科博). Somatic incompatibility test, RAPD analysis, and microsatellite analysis reveal the closely related genets of *Heterobasidion parviporum* in a Todo fir (*Abies sachalinensis*) stands in Hokkaido, Japan. Forest Pathology DOI: 10.1111/j.1439-0329.2010.00708.x
172. 服部力, 太田祐子, 早乙女梢 (国立科博), Lee SS (FRIM). Possible endangered polypores from Peninsular Malaysian lowland. IMC9 the Biology of Fungi Programme Book P2.163
173. 早乙女梢 (国立科博), 服部力, 太田祐子. Taxonomic study of the *Elmerina hexagonoides* complex in Asia. IMC9 the Biology of Fungi Programme Book P4. 285
174. Banik MT (USDA), Lindner DL (USDA), 太田祐子, 服部力. Relationships among North American and Japanese *Laetiporus* isolates using molecular phylogeny and single spore isolate incompatibility. Mycologia, 102 : 911-917
175. 佐藤博俊 (学振), 服部力, Lee SS (FRIM), 村上哲明 (首都大). Two species of *Strobilomyces* (Boletaceae, Boletales), *S. seminudus* and *S. hongoi* sp. nov. from Japan. Mycologia, doi:10.3852/10-182 103 (3) : 598-609
176. 服部力, 早乙女梢 (国立科博), 太田祐子, Thi BK (FRIM), Lee SS (FRIM), Salleh B (USM). *Postia stellifera* sp. nov., a stipitate and terrestrial polypore from Malaysia. Mycotaxon 114 : 151-161
177. 服部力, 太田祐子, 田中正臣 (奈良県), 栗生剛 (和歌山県). Umbrella pine dieback caused by *Fomitiporia* sp. The International Forestry Review, 12 : 399
178. 服部力. 森林タイプと木材腐朽菌の多様性. 山林, 1515 : 46-49
179. 寺嶋芳江, 服部力, 中村仁, 太田祐子, 幸由利香. *Fomitiporia punctata* とスギ非赤枯性溝腐病菌チャアナタケモドキの菌糸体の培養特性の比較. 日本菌学会大会講演要旨集, 54 : 100
180. 早乙女梢 (国立科博), 服部力, 太田祐子. *Elmerina hexagonoides* 複合種の分類学的検討. 日本菌学会大会講演要旨集, 54 : 53
181. 服部力, 太田祐子, Lee SS (FRIM). *Buglossoporus heritierae* 及び *B. magnus* の再発見. 日本菌学会大会講演要旨集, 54 : 85
182. 金子洋平 (千葉県), 中村仁 (果樹研), 塩田あづさ (千葉県), 鈴木健 (千葉県), 服部力, 太田祐子, 安田文俊 (千葉県), 幸由利香 (千葉県), 牛尾進吾 (千葉県). ナシ萎縮病菌 *Fomitiporia* sp. の同定及び定義付け. 日本植物病理学会大会プログラム・講演要旨予稿集, 2011 : 74
183. 服部力, 太田祐子, 中村仁 (果樹研), 寺嶋芳江 (千葉県). チャアナタケモドキの形態学的特徴. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : Pc2-41
184. 太田祐子, 服部力, 中村仁 (果樹研), 寺嶋芳江 (千葉県). コウヤマキ、スギの幹腐れおよびナシ葉の萎縮症状を引き起こす病原菌の関係について. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : Pc2-42
185. 山下聡 (学振), 吉村剛 (京都大), 本田与一 (京都大), 服部 武文 (京都大), 土居修一 (筑波大), 服部力. 東南アジア地域におけるアカシア植林が多孔菌類に及ぼす影響. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : B02

186. 太田祐子, 田端雅進, 浅野浩之 (群馬県), 伊藤英敏 (群馬県), 岡田 充弘 (長野県), 久林高市 (長崎県), 小岩俊行 (岩手県), 服部力, 佐橋憲生, 窪野高徳. スギ・ヒノキの腐朽部から分離された木材腐朽菌. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-90
187. 栗生剛 (和歌山県), 服部力, 長谷川絵里, 中森由美子 (和歌山県). 和歌山県下のスギ高齢人工林における幹辺材腐朽被害の実態と要因. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-92
188. 宮下俊一郎. ケケンボナシてんぐ巢病ファイトプラズマ 16S rDNA 塩基配列の BLAST 解析. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 47
189. 宮下俊一郎. ケケンボナシてんぐ巢病病原ファイトプラズマ 16S rDNA 塩基配列に対する BLAST 解析. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61 : 42
190. Nagata, J. (永田純子), H.Takahashi (高橋裕史) and K. Kaji (梶光一) (農工大). Post-introduction dynamics and genetic variability in an isolated Japanese sika deer (*Cervus Nippon*) population (ニホンジカ導入隔離集団の動態と遺伝的変異). 2010 American Genetic Association Annual Symposium, Abstracts: 25-26
191. Kaji, K (梶光一) (農工大), H. Takahashi (高橋裕史), H. Okada (岡田秀明) (知床財団), M. Kohira (小平真佐夫) (知床財団), M. Yamanaka (山中正実) (知床財団). Irruptive behavior of sika deer: Comparison of two contrasting populations (ニホンジカの爆発的増加: 対照的な 2 個体群の比較). The 7th International Deer Biology Congress, Abstracts: 7
192. 高橋裕史. 帰ってきた! ?けものたち. 森林総合研究所関西支所研究情報, 96 : 4
193. 高橋裕史. 嵐山今昔. 森林総合研究所関西支所研究情報, 97 : 4
194. 高橋裕史. 秋は…。 森林総合研究所関西支所研究情報, 98 : 4
195. 高橋裕史. 代わり目. 森林総合研究所関西支所研究情報, 99 : 4
196. 高橋裕史, 上野真由美 (道環境研), 梶光一 (農工大). 餌制限下におけるエゾシカの餌転換. 日本数理生物学会大会講演要旨集, 20 : 39
197. 高橋裕史. 里山管理における野生哺乳類の存在と対策. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 54
198. 高橋裕史. 里山に忍び寄るシカの足音. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : A06
199. 竹田千尋 (農工大), 梶光一 (農工大), 宮木雅美 (酪農大), 伊吾田宏正 (酪農大), 吉田剛司 (酪農大), 高橋裕史. 代替餌としての落葉の評価—エゾシカの行動追跡から. 日本生態学会大会講演要旨集, 58 : 457
200. 藤原淳一 (神戸大), 吉村真由美, 前藤薫 (神戸大). 兵庫県三田市武庫川におけるヒメドロムシ 3 種の微生物環境の選好性. (新) 日本甲虫学会大会講演要旨集, 1 : 5
201. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of EPT (Ephemeroptera, Plecoptera, Trichoptera) adult assemblage between old-growth natural forest and planted coniferous forest basins in Japanese temperate region. Research Report of the Research and Education Center for Inlandwater Environment, Shinshu University, Proceedings of ISRLE2009, 6, 83-93
202. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Benthic Invertebrate Assemblages in Two Basins Where Visible Different Dwarf Bamboo Vegetation Have Vanished by the Predation of Sika Deer in Odaigahara, Flat Area at Higher Altitude, Japan. Stream Restoration: Halting Disturbances, Assisted Recovery and Managed Recovery, Editors: Gillian D. Hayes and Timothy S. Flores, NOVA science Publishers, Inc. NY., Chapter 6, 161-171

203. Chung-Ping Lin (台湾東海大), Ming-Yu Chen (台湾東海大), Mayumi Yoshimura, Shu-Miaw Chaw (台湾中央研究院). Mitochondrial Phylogenomics of a Relict Dragonfly: Implication for Odonate Relationships and Genomic Evolution. Symposium on Animal Behavior, Ecology and Environmental Education
204. 吉村真由美. 只見の森の恵み・溪流魚と釣り人(町史とおきの話 191). 広報ただみ, 481:13
205. 杉村乾, 田中浩, 正木隆, 牧野俊一, 岡部貴美子, 滝久智, 宮本麻子, 松浦俊也, 吉丸博志, 菊池賢, 島田和則, 高橋正義, 新山馨, 柴田銃江, 林雅秀, 吉村真由美, 末吉昌宏, 前藤薫(神戸大), 吉田謙太郎(長崎大). 森林が社会にもたらす様々な恵みを評価する. 森林総合研究所第2期中期計画成果集 重点課題アイc 森林の保健・レクリエーション機能等の活用技術の開発:16-17
206. 杉村乾, 田中浩, 牧野俊一, 岡部貴美子, 滝久智, 松浦俊也, 吉村真由美, 柴田銃江, 前藤薫(神戸大), 吉田謙太郎(長崎大). 森林生態系が社会にもたらす様々なサービスの評価に関する研究. 森林総合研究所平成22年版研究成果選集 2010:30-31
207. 吉村真由美. 流域の地質構造の違いによる溪流性底生動物群集の比較. 日本生態学会大会講演要旨集, 58:407
208. 斉藤亘, Yunting Fang, Jiangming Mo, 吉村真由美, 楊宗興. 中国亜熱帯地域の酸性化環境における金属元素の挙動と酸性化が森林生態系にもたらす影響の評価. 日本地球惑星科学連合大会予稿集, 2010:MIS006-P05
209. 吉村真由美, 松浦俊也, 杉村乾. 森の恵み(生態系サービス): 溪流魚と釣り人. 日本陸水学会大会講演要旨集, 75:120
210. 李可(農工大), Yunting FANG(農工大), 斉藤亘(農工大), 楊宗興(農工大), 莫江明(華南植物研), 福原晴夫(新潟大), 吉村真由美, 童曉立(華南大). 大気沈着物によって引き起こされた亜熱帯中国における著しい酸性化と水生昆虫体内金属元素濃度への影響. 日本陸水学会大会講演要旨集, 75:84
211. 関伸一. トカラ列島における皆既日食で観察された鳥類の音声行動の変化. Bird Research, 6:A1-A11
212. Shin-Ichi Seki. Camera-trapping at artificial bathing sites provides a snapshot of a forest bird community (人工水場のカメラトラップで撮らえる森林性鳥類群集の一指標). Journal of Forest Research (日本森林学会英文誌), 15:307-315
213. Norio Sahashi, Mitsuteru Akiba, Makoto Ishihara, Kazuhiro Miyazaki, Shin-Ichi Seki. Distribution of genets of *Cylindrobasidium argenteum* in a river valley forest as determined by somatic incompatibility, and the significance of basidiospores for its dispersal. Mycological Progress, 9, 425-429
214. 関伸一. トカラ列島の野鳥と日食. 小冊子 2009年トカラ皆既日食～小さな島の大きなプロジェクト～(鹿児島県十島村):11
215. 関伸一. 鳥類研究にも活躍! するかもしれない自動記録装置. 森林総合研究所関西支所研究情報, 99:3
216. 関伸一. 男女群島の鳥類(研究資料). 森林総合研究所研究報告, 9(4)(No.417):193-205
217. 関伸一. ひそやかに宿る冬のアカヒゲ—先島諸島における越冬状況—. 日本鳥学会大会講演要旨集, 2010:198
218. 所 雅彦, 衣浦晴生, 岡田充弘(長野県林総セ), 斎藤正一(山形県森セ), 壽田智久(福島林研セ), 蛭田利秀(福島林研セ), 大橋章博(岐阜森林研), 福井修二・林 晋平(鳥根中山間研セ), 布川耕市(新潟森林研), 猪野正明(サンケイ化学). Influence of volatile components of oak tree to effect of attraction of the oak borer (*Platypus quercivorus*) aggregation pheromone. 58th Annual Meeting of the Entomological Society of America

219. 牧野俊一, 近藤洋史, 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 加藤徹 (静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター), 岡田充弘 (長野県林総セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 布川 耕市 (新潟森林研), 大橋章博 (岐阜森林研), 林晋平 (島根中山間セ), 山中武彦 (農環研), 加賀谷悦子. ナラ枯れに立ち向かうー被害予測と新しい防除手法ー. 小冊子, 森林総合研究所発行:12pp
220. 福田秀志 (日福大健康), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 知多半島におけるブナ科樹木萎凋病の現状と防除活動の効果. 中部森林研究, 59:249-252
221. 衣浦晴生, 所 雅彦, 齊藤正一 (山形県森セ), 岡田充弘 (長野県林総セ). カシノナガキクイムシ誘引におけるエタノールの協力効果. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 61:37
222. 福田秀志 (日福大健康), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 愛知県知多半島で行ったナラ枯れの総合防除とその効果. 樹木医学会大会講演要旨集,15:27
223. 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林総セ), 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 大橋章博 (岐阜森林研), 林 晋平 (島根中山間研セ), 布川耕市 (新潟森林研), 猪野正明 (サンケイ化学). カシノナガキクイムシの誘引効果を高める成分としてのエタノールは? 日本森林学会関東支部大会要旨集, 62
224. 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林総セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 福井修二 (島根中山間研セ), 大橋章博 (岐阜森林研), 布川耕市 (新潟森林研), 本郷智明, 猪野正明 (サンケイ化学). カシノナガキクイムシ集合フェロモンの誘引効果に対するナラ類揮発性成分の影響. 日本森林学会大会学術講演集, 121:716
225. 黒田慶子, 衣浦晴生, 伊東宏樹. 健康な里山林の復活を目指した現代版里山利用システム. 日本森林学会大会学術講演集, 121:A04
226. 近藤洋史, 齊藤正一 (山形県森セ), 衣浦晴生, 加藤徹 (静岡林技研), 布川耕市 (新潟森林研), 岡田充弘 (長野県林総セ), 大橋章博 (岐阜森林研), 福井修二 (島根中山間研セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 山中武彦 (農環研), 加賀谷悦子, 牧野俊一. ナラ類集団枯損を考慮した森林資源分布マップの調製. 日本森林学会大会学術講演集, 121:Pe1-41
227. 齊藤正一 (山形県森セ), 衣浦晴生, 岡田充弘 (長野県林総セ), 所 雅彦. 東北地方におけるナラ類おとり木トラップによるカシノナガキクイムシの誘殺効果. 日本森林学会大会学術講演集, 121:Pe1-42
228. 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林総セ). 樹幹注入した穿入生存木におけるカシノナガキクイムシ繁殖成功率. 日本森林学会大会学術講演集, 121:Pe1-43
229. 齊藤正一 (山形県森セ), 岡田充弘 (長野県林総セ), 衣浦晴生, 所 雅彦. 集合フェロモン剤と大量集積丸太によるカシノナガキクイムシの誘引. 日本森林学会大会学術講演集, 122:Pa2-100
230. 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林総セ), 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 大橋章博 (岐阜森林研), 林 晋平 (島根中山間研セ), 布川耕市 (新潟森林研), 猪野正明 (サンケイ化学). エタノールによるカシノナガキクイムシ誘引効率の向上. 日本森林学会大会学術講演集, 122:Pa2-101
231. 近藤洋史, 齊藤正一 (山形県森セ), 衣浦晴生, 加藤徹 (静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター), 岡田充弘 (長野県林総セ), 壽田智久 (福島林研セ), 蛭田利秀 (福島林研セ), 布川 耕市 (新潟森林研), 大橋章博 (岐阜森林研), 林晋平 (島根中山間セ), 山中武彦 (農環研), 加賀谷悦子, 牧野俊一. ナラ類集団枯損被害の発生予測の検討. 日本森林学会大会学術講演集, 122:Pa2-98

232. 衣浦晴生, 齊藤正一 (山形県森セ), 所 雅彦, 岡田充弘 (長野県林総セ). 滋賀県湖西地域におけるおとり木トラップ法によるナラ枯損防除の試み. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-99
233. 長谷川絵里, 太田祐子, 服部力, 佐橋憲生, 菊地泰生. Ecology of *Armillaria* species on conifers in Japan. Forest Pathology DOI: 10.1111/j.1439-0329.2010.00696.x
234. Eri Hasegawa (長谷川絵里), Yuko Ota (太田祐子), Tsutomu Hattori (服部力), Taisei Kikuchi (菊地泰生). Sequence-based identification of Japanese *Armillaria* species using the elongation factor-1 alpha gene (伸長因子 1  $\alpha$  遺伝子の DNA 配列を利用した日本産ナラタケ属菌の識別). *Mycologia*, 102 : 898-910
235. Yuko Ota (太田祐子), Mee-Sook Kim, Hitoshi Neda (根田仁), Ned B. Klopfenstein, Eri Hasegawa (長谷川絵里). The phylogenetic position of an *Armillaria* species from Amami-Oshima, a subtropical island of Japan, based on elongation factor and ITS sequences (日本の亜熱帯地域の島である奄美大島で採集されたナラタケ属の一種の翻訳伸長因子遺伝子と ITS の配列に基づいた系統学的位置). *Mycoscience* (2011), 52:53-64.
236. 長谷川 絵里, 秋庭 満輝, 佐橋 憲生, 窪野 高德, 太田 祐子, 勝木 俊雄, 石原 誠, 高畑 義啓, 岩本 宏二郎. サクラ類幼果菌核病およびてんぐ巣病のサクラ系統による罹病傾向. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 48
237. 石原誠, 岩本宏二郎, 勝木俊雄, 秋庭光輝, 佐橋憲生, 長谷川絵里. 多摩森林科学園におけるサクラ増生病の発生傾向. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-81
238. 服部力, 長谷川絵里, 太田祐子, 栗生剛 (和歌山県林試). 和歌山県下のスギ高齢級人工林幹辺材腐朽から分離された菌. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-91
239. Hamaguchi, K. (濱口京子), Goto, H. (後藤秀章). Genetic variation among Japanese populations of *Platypus quercivorus* (Coleoptera: Platypodidae), an insect vector of Japanese oak wilt disease, based on partial sequence of nuclear 28S rDNA. *Appl. Entomol. Zool.* 45: 319-328.
240. 佐藤隆士 (三田市), 濱口京子, 佐藤重穂. 徳島県剣山山系からのユキホオジロの記録. *Bird Research*, 6 : S17-S19
241. Hamaguchi, K., Kato, K. (加藤賢隆・ニコインステック), Esaki, K. (江崎功二郎・石川県林試), Kamata, N. (鎌田直人・東京大学). Isolation and characterization of 10 new microsatellite loci in the ambrosia beetle *Platypus quercivorus*. (Short communication). *J. For. Res.* DOI: 10.1007/s10310-010-0229-2
242. 濱口京子. カシノナガキタイムシのリボソーム DNA に見られた地域変異. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 49
243. 丸山宗利 (九大博), 藤原希美 (九大・農), 秋野順治 (京工繊大・応用生物), 濱口京子. クサアリ亜属 *Dendrolasius* (ハチ目: アリ科: ケアリ属) の分子系統と分類. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 70 : 32
244. 齋藤和彦. 沖縄県国頭村奥区の土地利用の変遷. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか、どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 49-50
245. 環境省地球環境保全等試験研究費「沖縄ヤンバルの森林の生物多様性に及ぼす人為の影響の評価とその緩和手法の開発 (平成 17 ~ 21 年度)」プロジェクトチーム (齋藤和彦). やんばるの森林利用の歴史. 小冊子, やんばるの森の保全と利用を考えるために : 10pp
246. 齋藤和彦. 森林の時間、地域の時間 - 沖縄やんばるの森と地域の歴史的関わり -. 平成 22 年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨「森林の時間、社会の時間」: 3
247. 齋藤和彦. 森林管理における歴史と記録の大切さ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 96 : 1

248. 齋藤和彦, 渡邊康志 (GIS 沖縄研究室). 沖縄では海が見えようになると木は伸びなくなる? - 沖縄県国頭村における開度をういた海が見える高さの分析 -. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : Pa2-25
249. 齋藤和彦, 日高誠也 (愛知県). 森林簿にもとづく国頭村域の林齢分布. 平成 22 年度亜熱帯森林・林業研究会定期総会・発表会 : 4
250. 奥敬一. 里山からの資源利用は社会も豊かにできるのか. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか, どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 30
251. 村上由美子 (総合地球環境学研究所), 奥敬一, 佐久間大輔 (大阪自然史博), 堀内美緒 (金沢大学地域連携推進センター), 井之本泰 (里山ネットワーク世屋), 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 杉山淳司 (京大生存圏研), 横山操 (京大生存圏研) 大住克博, 湯本貴和 (総合地球環境学研究所). 丹後半島の民家建築部材にみる木材利用. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか, どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 48
252. 南佐和彦 (京大院農), 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 大住克博, 奥敬一, 今西純一 (京大院農), 森本幸裕 (京大院農). 管理されている送電線下の植生に関する研究. 2010 年代のための里山シンポジウム - どこまで理解できたか, どう向き合っていくか - 講演要旨集 : 52-53
253. 阿部佑平 (京都市), 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 奥敬一, 柴田昌三 (京都大学大学院フィールド科学教育研究センター). The connection between urban and rural areas through the use of dwarf bamboo leaves in Kyoto City. Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design: 168
254. 南佐和彦 (京大院農), 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 大住克博, 奥敬一, 今西純一 (京大院農), 森本幸裕 (京大院農). Managed vegetation under power lines. Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design: 261
255. 三木裕子 (京大院農), 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学). Free-standing-trees on paddy levees in satoyama landscapes. Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design: 389
256. 奥敬一. 里山 人と社会を支えた森林. 季刊森林総研, 12 : 5-6
257. 奥敬一, 村上由美子 (総合地球環境学研究所). 民家の材料からみた里山利用. シリーズ 日本列島の三万五千年一人と自然の環境史第 3 巻 里と林の環境史 (文一総合出版) : 187-208
258. 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 奥敬一. 比較里山論の試み - 丹後半島山間部・琵琶湖西岸・京阪奈丘陵のフィールドワークから. シリーズ 日本列島の三万五千年一人と自然の環境史第 3 巻 里と林の環境史 (文一総合出版) : 209-237
259. 奥敬一, 堀内美緒 (金沢大学地域連携推進センター). 里と林の環境史年表. シリーズ 日本列島の三万五千年一人と自然の環境史第 3 巻 里と林の環境史 (文一総合出版) : 見返し部分
260. 奥敬一. 特集「ランドスケープ研究の潮流と展望」にあたって. ランドスケープ研究, 74 (1) : 1-2
261. 奥敬一. 現代の里山をめぐる背景の変化. ランドスケープ研究, 74 (2) : 82-85
262. 奥敬一. 薪ストーブがうちにきた ぐらしにいきる里山. 小冊子, 森林総合研究所関西支所発行 : 14pp
263. 奥敬一. 丹後半島の多様な主体が関わる地域資源管理. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集 地域資源活用と連携による山村振興, 31 : 131-148
264. 奥敬一. 多様な主体の連携による地域資源管理と「welfare」の分配. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集 地域資源活用と連携による山村振興, 31 : 162-164

265. 奥敬一, 香川隆英, 田中伸彦 (東海大学), 八巻一成, 大石康彦, 高山範理. 魅力的な森林景観づくりへむけたガイドブック. 森林総合研究所第2期中期計画成果集 重点課題アイc 森林の保健・レクリエーション機能等の活用技術の開発 : 20-21
266. 奥敬一, 奥田裕規. 多様な主体の連携による地域資源管理と資源論. 森林総合研究所編「山・里の恵みと山村振興 市場経済と地域社会の視点から」(日本林業調査会) : 47-54
267. 奥敬一, 深町加津枝(京大院地球環境学堂). 多様な主体が関わる地域資源管理の取り組み. 森林総合研究所編「山・里の恵みと山村振興 市場経済と地域社会の視点から」(日本林業調査会) : 243-275
268. 奥敬一. 丹後天橋立大江山国定公園ー里山と地域制公園の両立は可能かー. 地域指定性自然公園の有効性・課題検証国内専門家会合 : 37-40
269. 奥敬一. 景観と里山の共生学. 特別連携シンポジウム 自然共生学の展望ー森林の生物多様性と里山の保全戦略ー : 11-12
270. 奥敬一. 地域への薪ストーブ導入による社会実験. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : A07
271. 深町加津枝 (京大院地球環境学堂), 奥敬一, 三好岩生 (京都府立大学). 嵐山森林景観再考. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : L36
272. 奥敬一, 田原加代子 (大阪大学院). 箕面国有林をとりまく森林ボランティア団体の活動動機. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : C03
273. 田原加代子 (大阪大学院), 奥敬一. 箕面国有林における森林ボランティア活動の展開. 日本森林学会大会学術講演集, 122 : C04
274. 吉田貴紘, 奥敬一, 井上真理子, 森川 岳, 宇京斉一郎, 末吉修三, 藤井智之. 木質ペレット高効率利用のための基礎研究 (6)ーペレットストーブ利用による省エネ効果. 日本木材学会大会研究発表要旨集, 61 : Q19-P-AM19
275. 田中邦宏. 森林と施業ー80年に及ぶ人工林の長期モニタリングー. 平成22年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨「森林の時間、社会の時間」: 2
276. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 榎山真司. 112年生を迎えたヒノキ高齢林分の成長ー高取山ヒノキ人工林収穫試験地 (奈良県高市郡) 調査報告ー. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 55-57
277. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 榎山真司. スギ高齢林分の成長ー高取山スギ人工林収穫試験地 (奈良県吉野郡) 調査報告ー. 森林総合研究所関西支所年報, 51 : 58-60
278. Wataru Tanaka. Current status of forest management activities by forest owners in Japan. Joint Japanese-Finnish Forest Research Seminar 発表要旨
279. 田中亘. 木材の伐り時と森林所有者の思惑. 森林総合研究所関西支所研究情報, 97 : 3
280. 田中亘, 山本伸幸, 林雅秀. 林業経営統計からみた林家の経営動向. 森林応用研究, 19 (1) : 9-16
281. 田中亘. 林業における外国人労働者の就労実態. 日本森林学会大会学術講演集, 121 : M30
282. 田中亘. 森林と投資ー日本国内で見られる最近の動きー. 平成22年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨「森林の時間、社会の時間」: 4
283. 田中亘. 国内の森林を対象とした新たな投資動向. 林業経済学会秋季大会発表要旨, 2010 : B 9